

平成 28 年度第 4 回やまがた出会いサポートセンター運営委員会議事要旨

平成 29 年 2 月 17 日(金)13:30~15:40

山形県村山総合支庁 402 会議室

議事内容

(2) 協議事項

- ・①平成 28 年度補正予算(案)、②平成 29 年度事業計画(案)、③平成 29 年度収支予算(案)を事務局から説明、委員より質問等なく原案のとおり総会に提案することを了承

主な発言要旨

(2) ④出会い支援サービス事業等運営委託業務の企画提案

- <委員>毎月 1 回実施の出張登録会の回数を増やしてほしい。また、米沢市の出張登録会の予約状況はどうなっているのか。
- <提案者>1 回で予約受付が 7 名まで可能だが、平均して 5~6 名の方が利用している。開催回数については事務局と協議する。
- <委員>事業の目的として行政側からすれば少子化対策というのはわかるが、幸せな家庭を築いてもらうことこそが目的ではないのか。
- <提案者>そのとおりであり、出会い支援事業の目的として挙げている。
- <委員>周知が不十分とあるが、具体的な PR 方法としてフリーペーパーの活用や名刺サイズチラシの制作だけなのか、もっと工夫すべきではないのか。バス乗降客向けに PR をするのも良いのではないか。
- チラシは何部作成し、どこに設置するのか。
- 市町村の社会福協議会の中には婚活に前向きに取り組んでいるところがある。ぜひ働きかけて関係強化を図ってほしい。
- <提案者>H29 年度にさらに力を入れたい PR 方法として提案した。これまで実施している他の PR 方法も実施予定である。
- チラシは 30,000 部程度作成し、設置場所は女性会員増加に向け美容室、カフェなど女性の目にとまりやすい所を考えている。
- <委員>新庄市の出張登録会の状況、更新対象者の再登録率をお聞きしたい。システム改修によりマッチングしなかった方については改善されたのか。
- <事務局>2/13 現在で期限満了者 210 名中 37 名が再登録し再登録率は 17.5%。
- <提案者>新庄市の出張登録会は、昨年 12 月までで 30 名、月平均 3~4 名が利用している。システム改修により、センターから足が遠のいていた会員の方が戻ってきたように感じている。活動状況等のレポートが確認可能となったので、今後状況を把握していきたい。

<委員>システム内容、会員登録の方法等説明の機会を設けてほしい。会員の悩み等に対する相談対応が重要。当方では男性向けの研修等を実施しているが、なかなか効果が感じられない方もいる。会員サポート強化策としてメール等でアドバイスを行うとあるが、早め早めに特に男性会員にはサポートが必要。

<提案者>システム内容や再登録は、メールやホームページ等で案内している。会員へのサポートとしては、服装や参考になる情報等をまとめた冊子を作成するなど強化策をこれから検討したい。

<委員>システムリニューアルのチラシに少子化対策事業と記載されているが女性の中には出産強要と受け止める方もいるのではないかと。

相談対応について、対応困難な相談については料金を会員が負担するとあるが、行政が運営していると押し出しているのだから無料で行うべきではないかと。

<事務局>まずはコーディネーターが対応し、困難な場合は専門家による対応が必要となるが、費用を会員が負担にすることは要検討なので、提案者とどのように分担できるのか協議していく。基本的に会員からは登録料以外は料金は発生しないという方針で対応したい。

(3) その他について

<委員>H29年度予算案について、結婚希望者の婚活力向上支援事業費がおよそ半分に減額されている。1/18に行った事業報告会でプログラム参加者の発表を聞き、ぜひ事業を継続してもらいたいと思った。

<事務局>今年度は4日間のプログラムの他に単発の講座を県内各地で実施したが、H29年度はプログラムのみを実施予定のため減額している。

<委員>企業間出合いサポーターについて、村山地域の企業が多いのか。新庄の中核工業団地をまとめる協議会があり交流パーティー等を実施している。当市で実施しているイベントセミナーにも参加して下さっている。声掛けして見ては。

<事務局>村山地域が多い、置賜、庄内地域の企業からも選出いただいている。他の地域にも広めていきたいのでぜひ声掛けなど協力願いたい。

<委員>登録料収入はどのような取扱いになっているのか

<事務局>委託料に充当、提案者の収入となる。

<オブザーバー>イベント等で女性が集まらない。県全体として女性の気持ちを動かすような取り組みがあればいいのでは。